

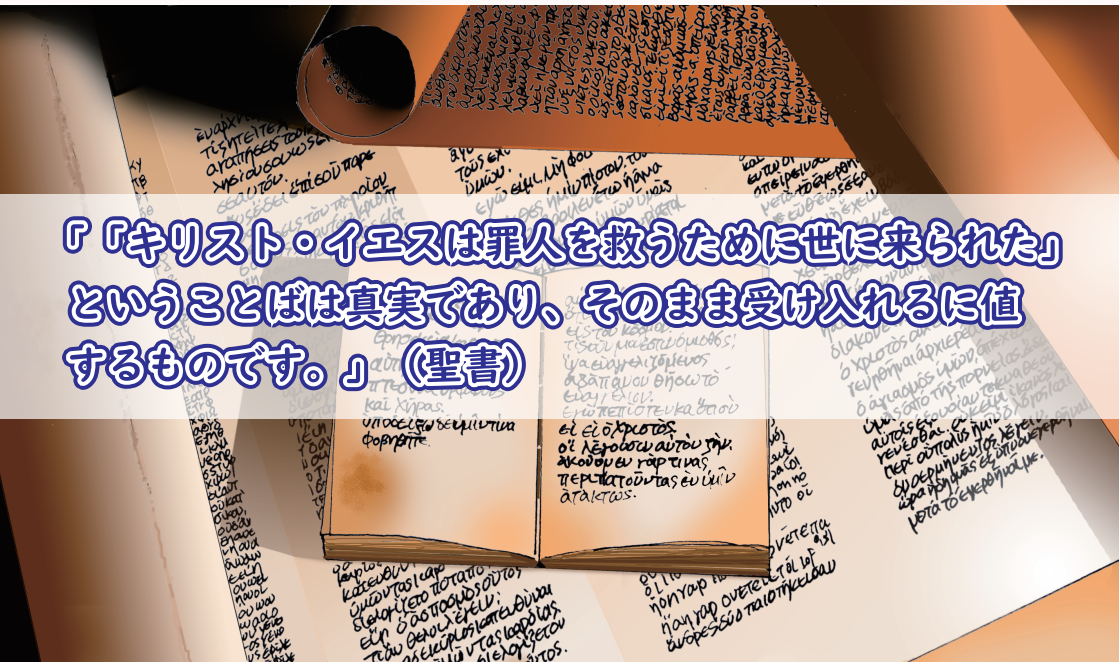
福音新聞

Good
News
NO.2



発行：東海東キリスト教会 <https://www.tsukuno.com/hamamatsu/>

『「キリスト・イエスは罪人を救うために世に来られた」
ということばは真実であり、そのまま受け入れるに値
するものです。』(聖書)



世界最古の新約聖書

1901年、聖書の大文字写本の三つの小さな断片がエジプトで発見され、イギリス、オックスフォードにあるマグダレン大学に寄贈されました。その図書館の展示ケースの中に保存されていた断片には、マタイの福音書26章の聖書箇所がギリシヤ語で書かれていました。

1994年、ドイツ人の聖書学者であり、パピルス紙学の学者でもあるカーステン・ピーター・ティーデ博士が写本の断片に注目しました。彼はそれらの断片を再度年代測定し、その年代を紀元66年と位置付けました。これは、第一世紀の新約聖書

本文として知られている唯一の現存本文です。マタイの福音書が書かれたのは紀元50年頃ですので、程なくして写本が作成され、速やかに遠方に運ばれていったことが分かります。聖書には、紀元30年に十字架上で死なれるまでの、イエス・キリストが公に活動された記録が記されています。

もし、少しでも事実に反する内容が記されていれば、直ぐに指摘されたはずです。何故なら、マタイの福音書が書かれる約20年前、また前述した写本が書かれる36年前に起こった出来事なら、その当時の人々は簡単に事実かどうかを確かめることが出来たからです。

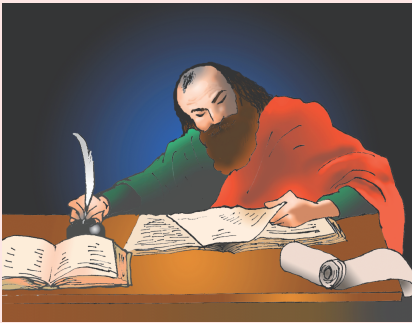
聖書の中の

イエス・キリスト

では、マタイの福音書にはどのような内容が記されているのでしょうか？

イエスは彼らに言われた。「あなたがたは、わたしをだれだと言いますか。」シモン・ペテロが答えた。「あなたは生ける神の子キリストです。」(16章15・16節)

イエス・キリストは神の御子であり、この世に人としてお生まれになった御方です。



その証拠として、人には出来ない御業を数多くなされました。

イエスの評判はシリア全域に広まった。それで人々は様々な病や痛みを苦しむ人、悪霊につかれた人、てんかんの人、中風の人など病人たちをみな、みもとに連れて来た。イエスは彼らを癒やされた。(4章24節)

このような事実をもってイエス・キリストは、ご自身が人となられた神の御子であるとお示しになったにもかかわらず、人々から排斥され、十字架に架けられてしまいました。キリストは弟子たちに、そのような扱いを受けられることをあらかじめ語っておられました。しかし同時に、死後、三日目によみがえられることも告げておられました。

そのときからイエスは、ご自分

がエルサレムに行つて、長老たち、祭司長たち、律法学者たちから多くの苦しみを受け、殺され、三日目によりみがえらなければならぬことを、弟子たちに示し始められた。(16章21節)

神の御言葉である証拠

多くの奇跡を行い、死人の中からよみがえった「神の御子」について創作された本を、何の証拠もなしに真実として受け止め、その「神の御子」なる人物のために命を懸ける人がいるでしょうか？その本を一字一句間違いのないよう書き写し、異国の人人々に命を懸けて伝えようとする人がいるでしょうか？クリスチャンは聖書を、マタイなどの信仰

者を用いて真の神が書かせたものとして受け入れていきます。そして聖書に記されている通りにイエス・キリストを神の御子として信じ、現代に至るまでの約2000年間、礼拝し続けていくのです。それが神の御言葉である証拠でもあるのです。

死後のさばき

では何故、神の御子であるキリストが人となり、十字架上で死ななければならなかったのでしょうか？それは私たち罪人のための、永遠のさばきからの救い主となられるためであつたのです。聖書には「すべての人は罪を犯して、神の栄光を受けることができず」「人間には、一度死ぬことと死後にさ

ばきを受けることが定まっている」と書かれています。全ての人間は義なる神からさばきを受けべき罪人です。人手によらずに秩序正しく構成されている身体を持ち、日々使っているにもかかわらず、自分の創造主である神など存在しない、自分は偶然に生まれ、存在しているのだと主張します。それこそが真の神を無視する重大な罪です。「彼らの目の前には、神に対する恐れがない。」(聖書)そのため、人は死後、火の燃え続ける地獄に投げ込まれ、その炎の中で永遠に苦しみ続けなければならぬのです。「いのちの書に記されていない者はみな、火の池に投げ込まれた。」(聖書)

さばきからの救い主

真の神は、私たち罪人をさばきから救うためにイエス・キリストを救い主としてこの世に遣わしてくださいました。キリストは、私たちの全ての罪を赦すために、十字架上で罪のろいを一身に受けられ、身代わりにさばかれ、死なれました。そして死後三日目に、葬られた墓の中よりよみがえられました。その後キリストは、弟子たちの前に40日間、御姿を現され、彼らの見ている前で天に昇って行かれました。誰でも、イエス・キリストを

真の神の御子であり、永遠のさばきからの救い主と信じ受け入れるならば、罪が赦され、天の御国に入れる人となるのです。「神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに世を愛された。それは御子を信じる者が、一人として滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。」(聖書)

どうか、聖書が真実な神の御言葉であると認め、イエス・キリストをご自身の救い主として信じ受け入れてくださるよう、お勧め致します。

聖書講演会のお知らせ

真の神の言葉である聖書から、すべての人に必要な福音を分かりやすくお伝えいたします。日時などは、同封の案内をご覧ください。



教会ホームページ
はこちらからどうぞ

東海東キリスト教会

牧師 畑川 洋一郎
副牧師 榊原 康博

〒430-0852 浜松市中区領家3丁目22-2 TEL (053) 548-4812

※ 当教会は、エホバの証人(ものみの塔)、統一協会(原理研)、末日聖徒キリスト教会(モルモン教)などとは違い、聖書そのものを学ぶキリスト教会です。尚、これらの団体でお悩みの方、違いをお知りになりたい方は、是非ご連絡下さい。